

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100459		
法人名	有限会社 ライフ・シップ		
事業所名	嘉瀬紀水苑		
所在地	佐賀市嘉瀬町大字荻野698番地		
自己評価作成日	平成24年2月19日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成24年3月23日	外部評価確定日	平成24年4月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>嘉瀬紀水苑の理念 { 家庭的な雰囲気環境と地域の方との交流の中で「楽しく」「なごやか」「すこやか」をモットーに、潤いのある生活、又、安心して、その人らしく暮らして頂けるよう支えていきます。} ご利用者の笑顔が多く見られるように支援し、天候の良い日には近隣散歩、公園めぐり等、苑外活動に出掛け季節を一緒に感じて日々過ごしています。又、地域の方や地域の子供達との交流も大切にして行きたいと思っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>間もなく開設10年を迎える嘉瀬紀水苑は、田畑が見渡せる長閑な自然環境の中、ホームのケアもゆったりとされている。ホーム代表は介護の経験から、認知症の人との関わりを深めたいという思いが、ホームの設立に繋がった。その思いが現在もそのままケアに活かされて、職員にも浸透し、理念である「楽しく」「なごやか」「すこやか」を実践するため、利用者の思いにより添い、楽しんでいただくための計画が盛りだくさんに立てられている。又、隣が管理者の自宅という利点は、地域との交流にも一役かっており、自然な形で地域とのふれあいが実践されている。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスとして、住み慣れた地域でその人らしく生活して頂けるように、全職員が事業所理念を作り、日々の業務の中で理念を共有して実践に取り組んでいる。	理念を実践するため、毎月の会議で具体的な関わり方について検討しており、年度目標を立てている。又、認知症介護の勉強会を開催し、入居者の立場に立つケアに努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご利用者が地域の方と交流を持ちながら暮らし続けられるように、地域の子供達や地域の方との交流会の「おしるこ会」や「クリスマス会」等、ふれあいが日常的な付き合いが出来るようにしている。	自治会への参加や清掃活動、子供110番等、地域の一員としての役割を認識、実践している。日常的な散歩による馴染みの関係づくりやホームの行事にも地域住民を招き、交流会を開催している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々の健康や介護や認知症の方の、支援の方法は実践を通じて事業所で出来る力を活かすよう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、年度始めは行事計画・事業計画を報告し、防災や事故等の協力を依頼し、話し合いを行っている。ご利用者やご家族の意見、要望等を基にサービス向上に活かしている。	定期的に会議を開催し、駐在所の巡查部長、消防署職員、自治会長等、開催テーマに応じた役職の出席をお願いし、研修もしている。ホームを理解していただき、運営への協力をお願いしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には略毎回参加して頂いている。苑の実情やケアサービス等の取組を報告したり、苑だよりを回覧して頂いたり協力関係を保てるように取り組んでいる。	市の担当者や地域包括支援センター等へ紀水苑便りを配布し、ホームを理解してもらいながら協力関係の構築に努めている。居室の空き状況を伝え、入居者の紹介してもらったり、生活保護の方が入居されており、担当者と連絡を取り合っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束をしないケアを理解して、玄関の施錠は夜間の戸締りのみで、身体拘束防止の勉強会を実施し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	外部の研修会に参加したり、ホームでも勉強会を開く等、職員の身体拘束防止に関する意識を高め、ケアを実践している。玄関の鍵も夜間のみ施錠とし、外出傾向にある場合は、一緒に散歩に行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が高齢者虐待防止法についての勉強会や講義等で学ぶ機会を設けている。入浴時には、全身観察を行い虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度の理解を学ぶ機会を設けて、必要な方には活用して頂けるように支援します。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者やご家族との契約時や解約、改定等の時は、十分な説明を行い理解と納得が得られるようにし、又、不安や疑問点を訪ねて理解、納得をして頂けるようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者やご家族等からご意見、ご要望等と言って貰える雰囲気づくりに努め、運営推進会議等で話し合い運営に反映させている。	家族が意見を言い易いよう、面会時には言葉かけをしている。運営推進会議でも家族の意見を聞くことが多く、これまでの意見をもとに環境改善に役立てたこともある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を聞くミーティングを開き、職員が働きやすく、又勤務体制にもゆとりが持てるように設けている。	会議では職員から意見を聞くよう心がけており、運営やケア内容に関する提案をみんなで検討している。個別にも勤務体制等について、意向を汲んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働ける職場環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の学びの場を多くして勉強会や研修を受けて、働きながらしていく事を進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員が同業者と交流する機会を持ち、勉強会や相互訪問等の活動を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用される前に、ご本人より困っている事、不安な事、要望を聞く機会を持ち、ご本人が安心されるように関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族等が困っておられる事、不安な事、要望等をよく聞く機会を持ち、安心して利用出来るように関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時に、介護保険申請がされていない方、医療的に必要な方、施設に慣れられるか心配の方等に適した対処の方法を説明し対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に過ごし、共に生活する中で一緒に笑い、歌いながら暮らしを共にして、ご利用者から色々な事を学んでいる。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の訪問があり、一緒に寛がれて御茶やおやつを食べて家族の絆を大切にされている事を、全職員が共にご本人を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまで大切にされて来られた馴染みの方や近隣の方、民生員の方等との関係が途切れないように支援に努めている。	馴染みの美容院へ行かれる方の支援や、入居前からの知人や民生委員に面会に来ていただいたりしている。また、手紙を書いてもらい関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係を全職員が把握し共有し、孤立されることが無いように、又、ご利用者同士の関わり合いも持たれて、共に支え合えるような支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了してもご利用者やご家族との関係を断ち切らないように、御見舞、相談等伺いながら継続的に関わりを大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、全職員で情報を共有してご本人の意向に出来るだけ沿うように努めている。	本人が行きたい所、やりたい事の把握に努め、ケアをする中で、本人の言葉や表情からの気づきを専用のノートに記録し、共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報収集し生活歴や生活環境、馴染みの暮らし方、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	事業所用方式アセスメント表を用いて、ご本人がより良く暮らして頂く為の課題とケアの在り方について、ご本人、ご家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人の思いや意向がアセスメントされ、一人ひとりの個性ある介護計画が作成されている。定期的にモニタリング、評価が行われ、家族の参加を得て、会議を開催している。家族からは日常生活リハビリに対する意見も多く聞かれる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者一人ひとりの日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践やモニタリングを行い介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況、その時々発生するニーズや要望に応じて食事や買い物、行楽等の家族になり替わり、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、近隣の中学生による福祉体験学習や地域の小学生とのふれあい等、ご本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしが出来るように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医が往診に来て頂いて、事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人や家族が希望されるかかりつけの医療機関に受診されている。受診時は職員が付き添ったり、協力病院にも往診をして頂き、情報提供に努め、家族へもその都度報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づき、身体状態、経過を職場の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診、往診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院された時は、安心して治療が出来るように、又、出来るだけ早期に退院出来るように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて協力病院やかかりつけ医と連絡や情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用時に、重度化した場合や終末期の看取りの指針について説明し同意を得ている。ご利用者が日々より良く暮らして頂けるように事業所で出来る事、出来ない事を見極め、十分に説明してかかりつけ医と共にチームで支援に取り組んでいる。	指針により家族に説明し、同意を得ている。重度化しても、経口摂取を工夫するなど、医療機関の協力を得ながらホームで出来ることを支援している。段階的に家族と話し合い、意向を確認している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応・事故発生時対応のマニュアルの判断基準を作成している。勉強会の機会を設けて知識、技術の習得を図っている。事故予防に努めている。又事故発生時にも対応出来るように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震、水害等の災害時に、備えてご利用者を守るために避難訓練を実施している。又、町の第一避難場所、第2避難場所の確認を行った。近隣との協力が得られるように築いている。	定期的に火災のみでなく、地震、水害を見据えた避難訓練を実施している。消防署の協力を得、近隣住民への協力も依頼している。最近では班の役員の方も参加していただいている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応、記録等をしている。	人権の尊重やプライバシーを守ることはホームの理念にも通じる内容であり、接遇も含めて勉強会を開催し、職員の育成に努めている。ケアの中で管理者が指導することもある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の要望、希望を表せる雰囲気づくりにして自分で決めたり、納得されながら暮らされている。強制や押しつけの支援とならないようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れは、基本的には決まっているが、一人ひとりの体調状態、気分配慮しながらご本人のペースを大切にし、自発的な意向を尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい理美容は訪問にて支援して頂いている。ご利用者の方も気に入っておられる様です。又、行きつけの理美容室を持った方には支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューを一緒に決め、料理の下ごしらえ、配膳準備・配膳・食事・後片付けをご利用者と一緒に行っている。	食材の買い物や準備、後片付けまでの流れを職員が入居者と一緒のことを大切に考えている。職員は同じものを同じテーブルで、さりげなく支援しながら食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者一人ひとりの摂取形態、摂取量をその方に応じて提供している。水分量も食事以外で1日1000CCを目標に飲用してもらえるように、品を変えて提供している。又、栄養バランスが上手に取れる献立表を活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に、一人ひとりの歯磨きや義歯洗浄を言葉掛けや誘導し、介助したり、見守りしている。夜間は、義歯をお預かりして義歯洗浄剤や水に浸けて支援している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの力や排泄のパターンを把握し、言葉掛けや誘導が必要な方等には支援している。なるべく布パンツを使用して頂くよう支援している。ご本人で出来る所までして頂き、出来ない所をケアしています。	オムツを使用されている方がトイレへの誘導により、使用せずすみような支援の実践に努めている。自立に配慮した支援と共に費用の軽減も含め家族に喜んでもらっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	全職員が便秘が及ぼす影響を理解して、食事には食物繊維を多く含む食品を提供するようにして、食材を1日30品目を目標に心がけている。排便・排尿チェック表を用いて定期的に排便があるように運動、散歩、体操等取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は一人ずつ入って頂き、希望やタイミングが必要な方にはその方に合わせて入浴して頂いている。見守りや介助が必要な方にも安全に配慮して入浴を楽しめるように支援している。	一人ひとりに合わせた入浴を支援し、楽しんでもらえるよう努めている。入居前の習慣を考慮し、希望があれば、夜間入浴も支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて休息されたり、休憩、睡眠を取って頂いている。又、安心して気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの病気と服薬されている薬の把握に努めて、薬の説明書を管理している。薬を手渡して飲める方、介助で飲める方等、服薬確認をしている。症状の変化がある時には、かかりつけ医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、好きな楽しみごと等で気分転換等の支援をしている。又、季節歴等も取り入れて日々の生活に季節感も感じて貰っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	戸外が暖かくなったら、毎年恒例の近隣を散歩されたり、スーパーでの買い物されたりして日常的に外出を支援しています。一人ひとりの個別外出にはご家族と協力して頂きながら支援して行きたい。	特に希望が多いのが外出支援であり、それに答える形で出かけており、ホームの特色ともなっている。家族も協力が得られれば同行して頂き、入居者の喜びを実感している。散歩は日常的に行われており、個別には受診や買い物などへの外出を支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で管理出来る範囲の所持金。ご家族の要望に合わせた支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者の要望や希望があればいつでも出来るように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者と一緒に作った季節の貼り絵や季節の花を飾り季節感を採り入れている。又、車音や暴風音の防止に2重サッシにして天井窓からは明るい光を取り入れる工夫をして、居心地良く過ごせるようにしている。	空調に工夫した設計で明るく、入居者が「楽しく、和やか」に過ごせる家庭的なしつらえである。ゆっくりとソファで過ごしたり、気が合う仲間同士、一緒に過ごされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士が思い思いに過ごせるソファや椅子があり、又独りになれたりする場所で思い思いに過ごせる居場所を工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には、ご本人の使い慣れたものや好みの物のタンス、テーブル、椅子、毛布、等を持参され本人が居心地良く過ごせるようにご家族と一緒に工夫をしている。	入居時に使い慣れたものを持参して頂くように話している。筆筒や椅子を持参したり、ぬいぐるみや写真、また愛着がある人形を大切にされるなど、それぞれ個性ある居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	なるべく一人で安全に動けるように手すり、引き戸、ドアやスイッチの位置、時計、歴、等安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫をしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない